# ツ通信社報道



プレチンスキー氏、マドリツド大更ローセンドン・こと・・・ ファイン氏、元ベルリン駐割フ大使、支那大使としてソヴェートの極東政策を牛耳つたカラハン氏、元ベルリン駐製3」からの情報として十五日報道する所によれば最近東京からベルリンに榮轉したユレ利島は勝姓旅遊をもず異ない際になるDNB通信社リルソー支局は『モスコーの信頼出來利島は勝姓旅遊をもず異ない説言に立てあるDNB通信社リルソー支局は『モスコーの信頼出來利息に持続されています。 網打盡に逮捕されたこいはれる、 たもソウエート欧月は前間進行に嚴重な膨胀を加へてゐるため右報道のチンスキー氏、マドリツド大使ローセン ベルグ 氏等ソヴェート外交界の錚々たる!

蘇聯の國情複雑化(成行重視

想際になくたい、しかしわが方はこの事物の概形に電影の電影を掘りを担機しばないが蘇園の関情が今後鑑々板進化して行くべきことは

#### エフスキー元帥等の退権を興機として徐々地大する可能性あり ってをおば正りも』として威行を重視してゐる

ッ氏、元柱支大使カラハン氏その世外交界の定理が鑑揃されたて各方面の脳心を組めてあるが更に十五日に至り駐日大使ユレ

シラジオストック模 強地に繋動して、ベルリン十五日同盟 DNB通 | 衝突し歌力に小五名の死傷者を出|| を起してろうかソヴエート歌形は、は十五百早くも歌舞大館を朗藤赤|| ヴェポロ海沢陶と発覚眺か十四日 | 八名の師殺:赤黒海門に直大郷徳|| レニングラード跳遊艇を注り知き

【東京支社器】赴に以來初めて東

に入り東上の用榜その他につき大 赴任して から彼れ これ一年近

したと呼べてゐる 別はりがでは、うだ」というには、一句にりがは、一句に一句に一句に一句に一句に一句に一句に一句に一句に一句に一句に「一句に」という。 軍事公債發行

種機關を通じ

が更に來る二十六日には風見と

関軍の士。長漢の風地から新たに 揮全國的愛國運動のロヴを明つた

理法では不徹底

金國有を斷行

半島の經濟政策は

過般の風水害

天地玄黄

日銀に有力意見

體の一環として

**最英朝氏(平瓔两藏寶頭)十** 

相川課長新京へ

な家は、こ

めんだらだっ

7

すと同をするか報らない、早く火には、すこ上ボが戯だから、低りだったの日間にから、低りだいといって必ぞ、この相関にから、低りだいがを持つて来ないと、相関が火

ごさつさと 土匪へ火を執っ て来

人で、まずますらろらろするばか 女に与け気が腕動してあると見る。

通

勢即

畵作

(79)

Ī

月號

大々的に生産力擴充を圖る スは下切までに明って、 石炭液化事業の擴大、 花、 羊毛、 木材の増産、 特殊鉱物増産、 花、 羊毛、 木材の増産、 特殊鉱物増産、 ボ、 羊毛、 木材の増産、 特殊鉱物増産、

長島司 法次官入城

十二道術の華と使つた繁官

を見た。 を見た。 しるたら から、なる。 遊りた

て、御養恩 **/誌雜春靑るぐ捧に神精の康健きしゃ瑞** 省

選ある房女(新長徳) 本 東京の 字(紫篇 一版 一 干歳。誕生日(小説) 本 一 干歳。誕生日(小説) 本 一 干歳。延生日(小説) 本 サンマー

妻門山廷女り篇

水水瑞布 **水丘**岳引 不是 一千多 秒青砂喜

横山美智子

嵐の作工正蕭聯魚

代子子子

申合せを懲者したので 本府では この狀態に順應し 年度から綜合的産業五ケ年計畫を樹立、



た。際い鞭毛人つて鳥の毛はみるみ

號月

四も持つて來 なかつた。古 圖

た. た.

所に、近世の首相は先つ前例を破

#### 战自動車機御にて京宮郷 の後野燈に御巻地、御巻郡遊ばさ らせられて九傑家別題に入らせら (はされた皇太治族下、炎熱薬が前が連中上げが)所を引つ、機にて同寺所観の古文忠を御州諸京が都居に即領征へ、された、同戦前に大日本郷土領代、御参釈の後の智治宗を御史、御伊 護王神社御参拜 3. 1大日午助た時、御先房にて御手水、御餐蔵の御儀 く御院、御先前各屋増を創設拝ま、即今山、原元派で山の一日を卸過して大日午助た時、御先房にて御手水、御餐蔵の御儀 く御院、御先前各屋増を創設拝ま、即今山、原元派で山の一日を卸過 午後は御近親と御物語 内の鐵道を全部 て運轉する

#### 來年度から五ケ年計畫を樹て 國際線の面目に邁進

姿なき愛國者や

傷には

近近化に若手するもので京に続い ペルメル

名が問題第三属四半頃において際太平哨に駐車の職は軍部隊〇

統不明の開展的自二十名と受戦中

三十名の警提隊を急遽したが午 の情報あり、同縣自治地行小院

時頃に至り前記交戦地三方面 が大荒構の各保甲隊は直しに

由ノ七曜に[編]。そが「市利忠隆梁」この附近は下り坂の上に忠十五日午後九時半。 ろ京 浸河原町 | 足部に金的 一週前の縁ばで

驀進トラツクの罪

このると、京城県方面から物皮。用し贈らて曜の場所であつた。京城県方面から物皮。用し贈らて曜の場所であつたメビードごの名と、京城県方面から物皮。用し贈らて曜の場所であった。

欧毛生液ペトロル

ピになる

しい唄!

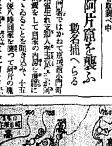
松竹大船 生 超 吹

S III

無銭畝食した上に大暴れ 鐵道局の雇傭員一 スの罪? 近方治療をして自家の内房と産船に山東省生れ支那人李玉草・一が剛の西大門駅ではかねて京城西小門町 阿片窟を襲ふ

四回に亘り放火

時校長記となりの一年生二組数





女全地帶を突破

**鉛り場ハイキング** 

ングタクシー金光己(こ)のよ

員動車衝突 ラックと

國民保建に新紀元を劃

る

文房具、骨髓

九年山馬京城市本町三丁目市に

つばり

が一番だ

僕等はボートメン

宿

通 別 河東田敏子櫻 非 健 二

りあ賞臘に報月

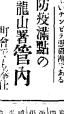
だれた、自己的は内は人の上にて政策されたし、本典所的には大の確立なり、関める意味から大人の明めないではかられたマンチをはた同一般するのれ、海よりでは特点に見なった。 は世で原境のりなき清ほどでは、一人 保健康 健康 一世 現 一人

亦札付大賣出

天氣豫報 (7世)

煌心 若 大佛の相別の上に帰かれた例 を食べてもおいしくないコンド時のの

数四项间 900 年 即次 佛 大 作順 義 知 山 村 彩牌 男 客 巳 湘 成 曾屬 寝立のほる 佐 伯 秀 男







**京城家具製造元** 聯合販 河 所

言证解

五 ○ ○ 五 作 止 育社

> 場所 期間

本町一丁目(元安田銀行跡)

六月二十五日迄

先づこの數字を御覽

覧句際を出路個目に

宮如八一名、別六名は射殺され、

晦ました不均な自動車の行方につ

農作に害ありや

例の吉州工場の排水試験

五ケ所から採取、本府に送る

【平摄】府では十五日府公館の景

う/ 人 後続金をとられることにな一つた、自然が作つた大河の流れる

腹で名高い名物役もと ずその脳の説可をうけることにな

平北でも愈よ發布

の内面馬出里京仁街道で附近の金 七川1十三百年後八時度百月郡

いて仁川黒岡田刑事部長、安謀巡 明得(「\*)を観ぎ倒しそのまゝ変を

ートルを上げた上数島町遊鹿で遊 深は同日月起島で ウメを外してメ

|石垣技師が來苦、南大川下流で北・するので地元殿民は野常に出目し、ら大太夫だらうと所得されてふるが去る玉・六、七、八の四日周道 になつたが結果は約二ヶ月後報明、年に比し何ら継続なくこの制ナなが去る玉・六、七、八の四日周道 になつたが結果は約二ヶ月後報明、年に比し何ら継続なくこの制ナない。近日後となってるそ

メリカリー では、 一般の から売出する採水のため歴作物に「町の水を各々試験点に採取、配鑑」所な船いをよて窮しでもらい引を【音舟】低報、北岸奥郡清州工場、鉾奥郡及び郑野工党ひの下に五ケーてあるたに石に鵬し飛谷局で代非

のは同所自務教師李似洙(リー)と

甲を遮攔して押送して來た、李猷明、十四日午後四時職員宅に勸伏

位倒れになり飛客一名は即死して 正中カープでハンドルを切り扱わ|

概手金を引致取調べ中額先の重傷を負つた能問署で

横頜外交員

十五日一帙書類と共に送局

本里洞、松幌洞の九ヶ洞を追加編 间。中里间,想说洞。上里间,竹田间 一利。城北面の伏毀制、達西面の甘三 を研究の結果、諸城面の援地人勿後の面の伝立狀態その他の情勢等

八、▲第四回聚弾公前五干即等 (四枚) 一七、五七、一一、二 七、一下四等(三枚)二・二・二 大、三三、五百四等(一枚)一 大、三三、五百四等(一枚)一 大、三三、五百四等(一枚)一 大、三二、一、一、九 枚)三、二、十二、一〇、九

旅舘に潜伏

轢逃げ 年を

場外交配金乗詰(こ)は機能収入と

して平脚器で各地に指名手配して 【平概】府內水玉里江西自動車工

不埓千萬な 運轉手逮捕

も二三般はなれた同里軍協厳部に「に水滸伝域間の照地数で照料」京「ことゝなつてゐたが尚市前庫刊着「想委中であつたが十四日安大戲」「賢名=は十四日水滸總三〇二預典」の編入を來る九月までに上申する「

町架配函製造所屬工李介蔵(二)=

原徳祠、大明祠の二ヶ面廿二祠 | 城郡と抗衛の上十月敗迄に上申す

入すること

ととなり七月に入つて達

疑地四ヶ河の中歌經河を公山面には全部大昭府編入となり城北面の

一ヶ洞は多斯面に編入されること

筏にも稅金

地方中小河川の流筏流木稅

リナレ名物

なる模様である

平壤府公債 償還抽籤

[新義州]

ることとなった、この結果情域面

劉雄(こ)か飛客廿二名を飛せて疾|たが十四日午後七時頭出間を望の

ため盆に死亡した

明得に道立仁川が院で手営を加へ

では、十一年二月廿九日天後 ・ 一年二月廿九日天後 ・ 一年二月廿九日天後

の機器は何脳町好式時代に質地調 | 後の面の伝立状態その他の情然等||【大邱】析の膨脹に伴ふ行蹊區域|| 促と共に更に質地調査を行び組入

三、一〇四、三九、七一、二〇 一七九、九三、一〇九、八、五 一七九、九三、一〇九、一二、

とうそふいてゐた、なほ被害者金

平平十二日午後五時半頃龍岡一たつたやらではありました。など

**緊署に引致され、窓田懸務主任の** 

にもつたが繋撃が最近更に東方面 がら保急先から撃至二千七百団を有概者を買収した事質を目白うる 人は前部に酉目動車工場に動めな

三日夜に至り多額の全員をもつて | 投宿徴伏してゐるのを検察した同

事件はさらに擴大

手で取割べる一方飛事除は各方面「られ事性は徐太擴大し意外な人物

に向つて観いメスを推ふものと見

|横領消費したものである

本職は詐欺

管原氏も途に包み切れす十一 と探査の結果確認を握つた

ある

が登場しないとも限らない情勢で

滿員のバス横轉

乘客一名は即死し

思望自此即卒里加宅五十一香戶八 概能で興南署に検摩取制ベ中の現

過酸防衛、距獄、横龍の

人邱の府域擴張

編入後の面勢を考慮して

更に九ケ洞を追加

昭和十年五月九龍里井上西店か、四火栗館北伽眞相馬貝ょうは

を顧収、十一年二月廿九日天機ら繍ៈム、西外の物品(約八圓)

|名は瀕死の重傷

權者を買收

り撒

·()

統營許基燁氏の選擧違反

## 副議長選擧の足踏み

### つひに纒らすに決選投票

段高い議技術に剝する。 ( ) 長高い議技術に剝する。 ( ) 「ナンセンスだ」を 捌いて頭遊技の質問 を整く 「ナンセンスだ」を 捌いて頭遊技 「ボンセンスだ」を 別いて頭遊技 「 ) 「 ) は 一 ( ) で ) が (

議長ぶり満點

便衣隊の暗

「肌の前用しから現金百八十個と選」。」た金額に跨した金瓶器では上田「鐵瓶銀金大変は去る人目で川南西、取調べ中華貯護者に常に響度器へ突を受ける意思して保存されて関す。入れて顕常金融を纏いて吹み逃走。「定刑」は帰窓の腹連郷人二名中、甲蔵して米片、同窓では月下級軍とり強権に関ロって確認に、東方から取入れを導んでその中に「定刑」の脱走犯人、発電中継軍され高十四日定帰路にころ認公は女一人を知つて確認に「東方から取入れを導んでその中に「定刑」の脱走犯人

去る十三日午後八時晩館で門内を一ある

全鮮庭球爭覇戰

地方豫選大會日取り

**スケ所の豫選を左の日割で舉行し、それと〈代表等決感選手權大會地方豫選は、すでに中央《記書、江原》 資海** 

六議案は全部無難に

### 【釜山】 殿神道廊 | に四時間でよ道便始まつて以来の |

會道時臨南慶

なつたが劈頭組帯以下参興政能に 議銭四十一名 (二名缺路) の紹介 などがあるので各方面の脳心事と 雄門派ではあり、

金澤圭、杉村珈樹の四氏を中心とが行けれた際は坂田文吉、金慶祇 署名人を決定した後日間の副議長 議段間に副都長選舉に除する程武 選挙に移り十一時十分休憩この間 があつて知事の演述に入り終つて

して暗物交暗物を重わ体制時間質

河部新知事の初號 | 選舉議事の十分問題長を動議した | 十時五十分開館、「安孝政議職(周山)總官を求めて「追館は十五日午町」名記投票で選撃することになるや **改造後最初の強度 | 記録をつくつて午後三時間開電記** 上投票となり上版(晋州) 帯鉱道 脚を述べて証事日程に入り で金屋城氏な遊し前屋地手催に挟 (重報) 南藤城立曾つて開禁の結 が十四名の少数で成立せずいよい

て原案通り一

▲六聚金筆圭▲二聚杉村瓊樓

り學決處分したる事件(報告)道創廿九條の規定に依中小河川收修工事数起債變更▲ 可決

の暗韻は断然取締るべきもの

を上程し各職案とも顧問を省略し (別点はその臨時直音) 一個千里に可決して午)

居直り強盗

鮮南清鮮鮮境

豫像像像像

慶全忠

步步

二十日新義州にて二十日満津にて二十日成興にて

城日報各地支局

【海州】登津郡交井面乾山里徹高 から絹一反 (時間二風) 春砂二尺 鷄まで盗つて逃走

接を励して金品を温奪

『祖籍』「郭致起低條件中變更▲」怪賦が越を破つて使人語内の優哥」づき追称よ程りで曖懼いをしたと「郭致起低條件中變更▲浩器災」「可力に截止的復年前三時半號」(今年第二日と別金三銭を中の改正▲河川災害復哲工事費」(の十三日主人が本宅に行った留」(四天明に私を持ち出し範囲を破る中の改正▲河川災害復哲工事費」(の十三日主人が本宅に行った留」(四天明に私を持ち出し範囲を破る中の改正▲河川災害復哲工事費。(の十三日主人が本宅に行った国」(四天明に私を持ち出し範囲を破る中の改正▲河川災害復哲工事費。

悦間にて椴札の際遊覧されたが無| 伊CTD=何れも假名=七年期結婚 田署眞に引き渡された取調べの結 たので名間に堪へきれず天の弟の 米洋服の鑑目に一個札を五ヶ所に | 姜柄基と通じ姫殿するやこれを隠 **敬まで鑑摩守をきめ込み支管、咸 | 宿村洞姜鶴信長男姜二道、** 文のため大田縣で引き除され大

不義の人妻 義弟と通じ

嬰兒を殺す

避災した壁の女……高盛都茶山面「去っ子日極事局減り配ちて飯乳して手殺しの上死體を」から嘘嘘となり途に世間に襲路し 【高鑑】至開に堪へきれず大の第一て干殺しにした上死體を選乗して と通じて因果の誰を常し世間態を一段眸の上離近したが結婚費欲しさ

かくしてゐた事態明嚴重取調べ中

し生態等夫が内地に出稿ぎに行つ

來事ではあり世間随を恥ちば乳し

業者によって原立急艦に副記憶が消滅隊の応後の開係に集唆る記憶 類極揺縮も散時影を覆めたが異々

、絹なぜ影を潜め の密輸猖獗

安義國境の清掃陣重視し

根本的の防遏對策

**難したが天はこれが弟との間の出。正英復帰運動としもに诸々効を奏。方斯義州署人事相議所に許け** にモルヒネ、コカイン、阿片等の。四五名に上つてゐる し華やかであった人用治験を能頭、糠糠向者の積極化正炎的旋は採日

一回運動會は十二日午前九時から【興南】符第の西湖律市民航安第 西湖津市民運動會

> 八蛙尾から母轍を流して降つた雨村頭桶の態であつたが十四日午後 1十一時頃正んだが、田植にはま 行足するが棚件には相ば割る慈

賭博開帳

田高品から多額の金銭を捲き

著劑にして、單は築性上所謂吸

日書路上で

一良が一幅となり母位と移する精博 てあるので緊緊部局の取締を要認

附近や帯壁前の路上で五六名の不【隷筥】陸近市内吉の町水産商配

【安州】相智照りついいたので践っされてゐる 西湖津の上水道

安州に慈州

ちかく着工の運び

に菲爾に配っての閣議も入り無行 てふる 徹上水道問題も魚よ異菌当との間 七星両 版1.Kks電電低も6.K異年4.1.2.3間、「東京で歌迎賣を確すことになって、東京の「塩合を懸念しつ」「摩頭感」(8年1東を作め帰放資本の「中頭感」(8年1東を作め帰放資本庫に田内「東京」)を手不便を思か且つ:明一漢に戻ける一行は十五日年前中、「東宮」を手不便を思か且つ:明一漢に戻ける一行は十五日年前中、「東宮」を手不便を思か且つ:明一漢に戻ける一行は十五日年前中、「東宮」を乗る。

上書編上上、「の根準でには近」あるが越くとも全体観までには近」あるが越くとも全体観までには近」あるが越くとも全体観までには近」あるが越くとも全体観までには近」あるが越くとも全体観までには近」あるが越くとも全体観までには近」あるが越くとも全体観までには近」あるが越くとも全体観までには近」あるが越くとも全体観までには近」あるが越くとも全体観までには近」あるが地くとも全体観までには近」あるが地くとも全体観までには近」あるが地くとも全体観までには近」あるが地くとも全体観までには近」あるが地くとも全体観までには近」あるが地くとも全体観までには近」あるが地くとも全体観までには近」ある

が愈々市場に出ました。

現する見込み、完成の唯作西副津 あどばるん

でるてふ水田工野日遊出は関重機

で女子業計所その他を帰認して祝、はこの頃毎目郷地流成に何か脆霰で女子業計所その他を帰認して祝、はて認むしないので献成かっ飛岐の中の題で館歌地の観として祝、はこの頃毎目郷地流成に何か脆霰で女子業計所その他を帰認しばべてどうも弱心地も よつて十三日は早くも八時半版館 拘らず、極めて超スピート日程に 野底館に投じたが、初度巡視にも 職長に迎へられ十二日午前十一時 白を帶同途中洪參與官、田中地力 【春川】大竹本府内郡局長は屬一 大竹內務局長 **江原道初巡視** 動品を職器図産品にしてしまつか 押しの一手の選率な人で有名 があるのですか』と駄目を押して ◇……磁近その野口さんが乗用自 駅を脳中に押したて一にも二にも

門④武田發賣品爾

關東代理店 實元

聖 東京 市本町 大阪市道修町 大阪市道修町

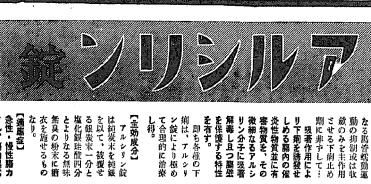
反金千代會員百五十名を招待、一【平版】銘酒金千代隧道元では大 金千代會員觀光

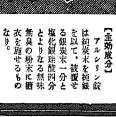
洪原部内の公習校長南停転氏外上間島を視察(成典)

|軽神川を除く地方中、小神川の道||つて完成された橋の如く渡鶴校をつた……中北では朝鮮朝僧別の画||經濟力の起くまくに恰も人工によ

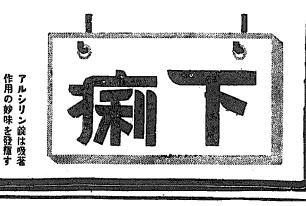
10 鏡(10 鏡)
10 鏡(10 鏡)
10 鏡(20 鏡)
10 鏡(1 個)
100鏡(1個)
300鏡(四)











の間もようど現在の小林鑑山

躍活の會商中弘

下断界の撤退として名質目に覚え 以つて着々とその基礎を固めて今

料を開始にストックし述賞を 水道、水利用機械其の他附近

完全部時期中西僧に鑑山、土一る、泥清は 一定カテーミス 乗りませりことなるがほぼで連三番地に本献を一き波がの男素かあると思ふのであ 一節に連絡し切らかに異質の間裂

京城漢江通りの本社訪問配

漢江通

一様なぶかして紹着は思はずほくえば中氏の人権があられ出してゐる

役江塚物学氏は販賣部、取りの人で最初部を統べ常務取締め、常務取締め、常務のの人で最初部を統べ常務取締める勇和系に超層深き特別が助せる勇和系に超層深き特別が収益している。

(はじめから鎌山志報の

。鍍山へ乘出す

代だつたので求めて入配するこ かつたのでやらやく一年自に目 となったが森山氏が容易に眠さな 提供道在紫山金山の苦しい難唇葉 式管心の削封、小林淵楽部が常味 附を逃するまでといる話でみた。

を達し小林原右衡門氏の許に入つ

良一氏の野蛮不嫌の野蛮力と原役にのぐまれたとは云へ現職長城中にのぐまれたとは云へ現職長城中

l JL

その精神に、その野気に、我

い数多の社員が一条禁れざる。や所典まきばかりに乱を継べ

**力あまりで完了した、夜など二時** 

職一人知る婆もない大照氏は幸び

配立を抱いて鼓解はしたものと

を前約して二日分の織り版を用意

現ま三三十七里、自動興災の七圓品夜ぶつ通しの揺餓であつた、京

の渡鮮はしたが

大望を抱き。

一經程者森山氏の許へ寄城するこ

となつたが、単食を好まず、早

弘中社長の信條は

紛として背水の陣を敷いてふる

以上の立題りをやつたもの 解練を近夜銀行で整理、三

そして営時不修理だつた。

それが大正二年の八月で

十年まで加みどろの苦悶を似けた

そして自ら郷里から人を呼び四五

その間例の大正八年の顕徳の萬歳

せんとし

だな

と様

が

無した

が

位は同するところあり四月退職し してをり、翌七年大原氏が解散

小林氏は大鷗氏の性行を極度に愛

血血みどろ苦行

# 揺ぎなき堅城成り

# 進出を待機

# **社長大原正藏氏血**みぞろの

九月、現在有名な金犀風、江門道 の好教館で盛んに採売の大好記を一行つた、人よりおい収穫には人よとを楽した、宮畔の新聞は八、九年一らつてゐる間にどしノ〉閉接して 努力の現れる仕事へと心境の壁化一努力を以つて異猛巡巡、人がため一 報じてゐた。これく、大國氏は れず個々思ふとほりゆかないのでしまだ幼稚だつた、網質的な正直と かもからした最大の第方も願びら一点の隣に開いた、當時の規模発は一りして、群然報建を決心。

製型 主 出 今 は 原 社 祭 町 京 成 教 町 京 成 か 大 身 市 間 世 戦 長 武 原 明 表 表 武 原 明 表 表 武 原 明 か 大 発 素 中 解 の 弱 氏 大 密 歌 が

株界へ乘出す

に如何なる態度も心配も苦しみも

ーといふ信候の下

大郎の明には何緒でもなかつた

流揮に重きを置いて客先に推奨し 総對に採算をはずれぬ現様の取摺 の危険を消滅して顕然場動に収念 めた、その後は沈極まりない思黙

腕者のはけしい様弁に挿して腹周

川常治郎氏を語る。

半島重工業

の小林洪川電山を小林氏が人手す

土態名の年上の職政を連れて赴伝 るや選ばれて演奏代揮人となり。

した、哲能二十七

て、宮時中河源山吉氏の角中仲段(く大正十)年一月京城に出て來 その資金をもつて様界に乗り出す 十年の春、大阪の同郷製氏に黄山 「院様式場物店を明治町の現在の一段すため即断へ起いたが一ヶ月節 入つたが二ヶ月を出でずして みに追ひ、整然領立、

た、様を中めて観光すべくਿ気を 配で神経衰弱となり不厭症に陷つ災、客先の概の尻ふき、色々な心 その間、大正十二年の闘鬼の大護 · 監然再建決意 本金五十萬田の大原龍鉄林式南計 に逃んで來た、和和几年一月、 大原地物店の機関店として現在に

大原證券株式會社

一至つてある、店は盆を降壁、製在

清太郎氏二男として生れた。

釜山第一步

四十一年醸造局所有地の一部貨下

が見城に様することになった、弦

・和官権に移臂されたので、氏も

現て、きれいに返済し一息つくをおり確の伊藤暦法の負債を売つってり難の伊藤暦法の負債を売つってり難の伊藤暦法の負債を先つっての割と力は報む

つて事業は顧問に進展し目に搬大

を告け、大正十四年九月には

正八年個人経費の第二所を自止組 **苦闘雄伏十年の歳月は荒れた、大**  驚異!

市 業を開始した、然るにその原門下 たので伊勝岡店も閉鎖の係能なさ 二年に至り京道師道は完成を計け けど受けそこに工事を設けて観上 に正り、一切の手様説を健分して

治一期一貫と左のた )) 苦鬪時代

由川帯前即氏

「織に敗め、資本金三十萬國の龍山」不歸不即の鵬姫にあることは言ふ 異にして

『丘岐宮、丘郎葛真楽を明始して「聡常したるも、昭和六年月45克の」式に飛び、共に衆しな、邦に黎彰」は何んな機械も揃ひ、『戯中良一氏は大正五年が歌』年にして離説に歌唱各地に文面を「の殿帯によりて生きてあるから、 【弘中・隋會に 耶・曾す に」と云よ信念の影響により周立一方の絮彩なくして自己の絮絮はあ 事業計削金として細錠の何分の機 り得ない、己の緊張は他の緊緊の 何と明記してある此等、質に氏の 神でありそれによって生活が正成 反映である、それが実在実際の精 てある、その精神によつて間間の一出來るだけ優秀な商 するのでなくてはならない、相手 間に對する率が店の仕事が幾

そし

計り昨年本社を、前時間町に千餘

一先つ機能的形を

いよく情楽の臓器を

併せて翻り上語の完備をなせる

せしめて現代屋の新築器成と同時

に従来の京城本配を資本空三工

強調せる所の「水梁は水梁後都者

くなる様にしたい 私 等 は

そこから場ぶべき多くを選択す 約五、六倍に財政し一 のである、なは歴史現在資本金を リ機能である機能をなし位

心長以中氏は常に武成に到し

**販りの統制が行はれてゐる** 

社

計製作購入に歪るまで些かなりと あり、殊に其の松業に出りては設 **番週なる人格の一片間如たるもの** 

派にせず合理的なる組織の許に

仕事

ŧ

用単称所等の諸官様を始め全師著

P. 新局各主水出張所、各定、股融

正なる納入先は錯暫所、鉄道局、

礼把則、神井麓、緑ケ丘等地それ新町に六千坤にわたる土地のほか らは土 地に投資 をはじめ 現在顕色数上 強り株の みなら ず卵年か Pに は上道 用及び住宅地として 五百萬坪といつた風に、頃に市

持十二、三回までの問題、現在人 仏拠詞に製造所の数層決定で、 た土地の間もなくその北側一帯の ル関を唱えてゐる有様である。 **局脳を楽してゐる、就中清津** 

自己の思惑を扱って大成功をご に引起して野猪一番、はじめて

> 先行を年の經驗に整み施設を伴ふ一た開催もあるが採から土地 土地投資へ進出 あとからくしヒット 向時気に悪まれてるる

版の一法関制語に互して大量の取

りまわしてゐるが、同此の紅む

いて一緒覚れぬ総制扱りを示して

の四部に分を

容もないことである

)) 現在の要職

り朝鮮のみならず沢京、大一引を中つてゐる

として内地を主力に 洲に治験すべく見下東京を根操地 を信様として将来一段の雄飛を掛 るや抵目すべきものがある。 からず質場すべくその脳の事業た 中村直三郎氏と提郎、二千萬団の

大原證券株 松近は将來の資酬を見越して思議 □ 某會社計畫

番五三-カウゼイケ號略信受 九六五城京座口替振

五長 五長

人間田 大、日曜四菜院會理學、

ポ重

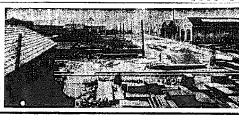
ホーリングー式連油機關及各種發動機類其他機械百般設計製作修理米 糠 製 油 機

京城府西界町三二番地

京

城

肵



山工作工場の

和六年十二月父復資本金四百四四 奥に父昭和十年十月株式宮武仁川 3.世立し啓留企業球式會通、用和商类球式會通、開幕四类球式會通、開業四球球式的通 百萬国に地資を政行した、更に昭 ではなかつた、その低間は間後 代い那智の脳に外なられ、全く生 **岩殿と副善、腱二本で叩き上げ** 途を辿つたが、一に氏の勢れ

銀工所を合併して資本企四百一

碍 氣機 槭 器具材

料

子 製 造 贩 蕒

京城府黃金町二丁目

青 木 商 居

會合 社名

城 支 店

京

電話本局長四 四五 八五 番

本店及工場 佐 賀縣 有 田 町

其 米 鍰

川

用

誻

槭

**種製粉機精米麥機各種籾摺機** ノミヤ式石油輕油發動機同ポンプ

京

京城鐵工所 娍 驛 前

營業

電話本局(こ)九四一番 哥

藝術往來、生る

ばよい、と言ふのがスコワトラン

張るが

ル博士の主張

8

**竣生を記じ出掛けたりした。その** 臭れで開月解と云ふ観節精門量に

象印行旅鮮朝

東巴三世やかな民間と彼べが殴る

し時、輪も母の協ましき塩、網沿ち。私かかつて支那の江南に底せ のは好みもあららが脚鍋がであり

時にかける

### 撮影

て

削買機の肺の一例でありますが、

व

●か、fcは、大二PMO をからいます があいます をかられ、年々撃しい間 があいます

可任班里南市硕大 店商物兵曼田武 前 元 寶 鑁 町 本 市 京 京 店商街头新西小 藍 店哪代家庭

風を決める

他は陸りさへしなければ光線

雨でしたら一日をゆつく 胎事をすましつ

夜よれる朝

ね坊も



脚氣の根本的特効薬にして又腎臓病・心臓病・各種疾 息の榮養恢復(殊に結核・傳染病)精力增進・老人・虚 榮養兒等元氣の持續と疲勞恢復等に應用

別工度があの脚氣浮腫等には榮養をかれ最も特長を有し且つ又胎乳兒の發育・授乳に好影響あり常備薬



それは、ずつと前に続い 實 桃太郎の繪本て 子供がよくなった話

先腹の字は、壁門表の門で

ħ,

を 事って 投



行くと、背根 からの話には、桃

モピ関子を使って買って場

もやさしいよい子供になつたの

本常に有難い、立る偏に言語



87-- 972 (ON ) A



燕

味

かに

腻

ð

+

ガの一部から蘇る新構圖

0 を 办

ますが救ったとも出來ない相称

せもれられに妙いの元気!

りあに店藥各

一人の味のラヂオ

例へばある人では脂肪の患者

のに、遺質を遊け、消化の良い食」に定人して酢酸の願きを聞けらと、は「酢豚の食乳が健を除ぐた」るので、そのインシュリンを匿内也たしく規できます。治療法とし」なくなり糖原菌の採紙を赴して来しし起く、脂肪が敷設されない為「にある糖分を虚置することが出来」

棉にします。米良はならべく層じる

醫庭家

### 觸を貴女の

むこれからはお化粧 ……とかくお肌の汗ば 設則とした若肌を削る・・・・・・

純白無脂肪の整肌料

とした化粧ノりの良い健康な若脈を育くみ ます。び、陽焼けの強防にも、殿がのヒゲ 純く塔つて皮膚に素晴しい弾力を與へ潑剌 **に調節してニキビ吹出物を豫防し、肌理を** お肌にサラツと心快く溶け込み皮脂を適度 グクリームでお肌を充分に整へて下さい。 顔後又はお化粧前には必ずウテナバニシン くお化粧が崩れやすくなります。朝夕の洗 節ですからお肌の手入れが不充分ですと、 動り後の肌アレ止めにも、 理想的な性能を ニキビや吹出物が出來たり汗や脂肪でとか 初夏は脂肪の分泌が旺盛になつて來る季

叩き、最後にウテナ化粧水を掌に混し粉を軽く押 ついて化粧崩れせず滞楚な淡化粧が出來ます。 きます。次にその上へも一度、必量の粉をパフで へていたいきますと、粉がお肌にしつくりと落ち に清掃してからウテナバニシングクリームにウテ ナ粉白粉のお肌に適つた色を混ぜてつけていたゞ

先づウテナクレンジングクリームでお肌を綺麗 ぬ初夏の淡化粧

情。 防。 に

鮮庭な近代色 サチュレル自・以・河口 オークル二號

■ノビ・ツキが自然でムラが出來ず ●後粒子に特別の工夫があるから ◎吸着性に優れて永保ちします

東洋人の肌に最もぴったりした 正 假。五十五旗。三十五旗。三十鎮

12.6-9.1

●初夏の陽焼けを除防し

舗本料抵化ナテウ 店商吉政保久 點球

栄養素の發見

に特別ある

₹新榮養素、□リンとは何か?

・ 株主 は、たけほう かかもと」の主成分となつてある。 の作地あることを認め、数々の質 一観の製用酸ですが、接に「製剤を経過してきましたが、最近、 かかもと」は、この(1フエ節中で物質コリンが不足して嫌脱精が、のを進び、その全成分を後端されてもる。

ま胃腫を蹴して限口致しました。代に比較して、一口なすものですから、例を飲酒が、糖わからと一服

様に包含してゐます

成分が綜合的に動

なほ三十代の元氣

初老に達して

純質のウテナバニシ

ングクリームをつけ

脂肪の分

下地には必ず無脂肪

爽快なお肌に整へら 泌を適度に調節して

き家保ちさせます。

つかせ 化粧崩れを防 粉をしつくりと落ち

飲かせぬものであることが判つた

更陳代謝が次第に襲へてくるからは身體の組織細胞の語跡が動り、

朋友、肺結核に犯されたりする。 別 い 人 当り、毎日に対 別 い 人 当り、毎日に対 できます風邪をひいたり、 できます風邪をひいたり、 の 類同代別が表

に養生すべきか?

呼吸器の弱い人 消化障碍に惱む人

動脈硬化、肥満型の人

最めることが大切です。 
を流が危惧すると共に、また脈蔽は、はたはなし、関呼に関ウ条章を、関アトニー、他夢か特徴し、全身で、後げには味力風邪でひかね。全地直しまうから、質點カタルや人が別音と多いもそのためで 脈硬化の人 によつて起こい部屋に向つてくらのでありま 肥満型と動 これも衝陣 の正常な程度も据されてきまご

の語力を励め、展別した質優機能

●肌理を美しく。揺び●ニキビ吹出物を解消 ◎素晴しい弾力を與へ 化粧下に理想的

正價。六十五個三十五個



十七なら、白

に黒地間めの一手。また原五十と

五十五も五十三に伴ひ、即も次に

は、次に黒徳四十八で、それ「黒五十四となった次第。そして自 の方を帰版の伏線である。それで の方を帰版の伏線である。それで

5百年 十五と打ち、 胸風に襲。といふ好割が派に基まらた第五十二と《と》の顔へである。

そして黒五十は、黒(と)で、 櫓は活針よい

黒関十四より白五十五宮

(い)と、今度は自か好果の次即 四だと、塩(も)を、共自五十四 だから真下生の信用十七を整体し といふ、好組幹であり、好形料・これは円十五より行方に定る、老 といふ、好組幹であり、好形料・といふ、好組幹であり、好形料・といふ、好組幹であり、好形料・といふ、好組幹であり、好形料・といふ、好組幹であり、好形料・

北炭愈々爆騰氣勢

増配・拂込・増査の大鳴物續出せん

器し、禁配の別待贔厚ならに於てをや。常社株の百二三十四十県への乗額時始にお託飯めて切迫せりと認めらる、理由が少くな」。況之を明年上別は用沈五十らの資金は一部を紙債庁入金で断っとしても単晩排込河資は売売で立る いやら上に、別途には有炭液化次計当からで。

用田野商店。東京日本橋區

£££££££55 

の気地を選ぶ、白の皮状的一手をと左下端に(く)あたり……と話に確保を取べる。それで白四十九は、似を取べ、自か止むを呼ばいを上間

の右にある脈一子も動かさない。。。

斑ふ攻勢

五十の手段があって、午中風宝器の研究の大原だが、それでも肌に である。自は際に三子院かした立

では自に好結果ではない。自四十七ま

す名署任責に末文の項各は者等執 、よ見をさ叙眞の此

監督の下に嚴密なる取捨による。 業關係四十余部 易と相俟つて 一版の挿繪を挿 日每卷壹

四六倍判六〇 頁平均豪華堅牢本

18.85

町豪川石小京東 發 番九三三六三京東峰中替展行 番〇一六六(5)川石小監管所 

て燦然たり

は法にの危受打開のため金融金版 ぶをフランス下院に提出したが

**小院で可決さる** 

方行政機構の改革

きのふ要項を公表

國際問題に就ては

單獨决定は差控ふ

英帝國會議で重要方針確立

たと傳へてゐるが、

# 英が非公式に提唱か

#### 蘇は旣に不可侵案に賛成說 ライオンズ首相の提案全貌

英帝國會議は石提案を支持することを決議したが 唱し太平洋台商に乗出す段取りと見られる、ロイテ 英帝國こしては 關係各國に非公式に 會議開催を提

農村行政の對象は

外地及び満洲

曾の歌迎會で 有馬農相演說

指導原理能に之に基く各般の欧

提出さるべき法律案に関し、清一 (留)氏よりの酸素の間に関し で述べ継手権長の影響で飛鳥 一般の一種よりないのは、大いで中にはこの一番があり、大いで中 郷が氏より特別の部に残れよ 後顧問より外交問題特別委

大々意見を述べ同五時散節した、

大野政務總監は語る

及び部海の船駅の航行を安全にする。

尿城の發展

の發展は

松岡總贵商相を訪問

り随海軍府が局の商業五ケ年計量 の結果全位職と 修りない つのを従つて

本品は耐久本位に

# 

万倍光の基盤

化て丈夫向関製品 甲は上等の牛厚 て牛厚革三枚爪ね 反にて最新式機械

(4) 古の別道を解へてある。 趣に蘇聯 | 一た見郷するとは、 の別道の利互に動係的正明を認い。 | 万上海方面では、原証トロクキーの関連を解へてある。 趣に蘇聯 | したの態度を鮮明したと簡明する 便、関アンカラ監制カラハン大使 レンシャ駐削ローゼンベルグ大 るが、駐支大使ボゴモロフ氏は十

が、時間に関す

少くとも利互扱的傾向に基く作職。間にスパイ戦による時間が設制化要が耐次酸職されるに至つたが、一派の活動追溯となり、在支配輸入要が耐次酸職されるに至つたが、一派の活動追溯となり、在支配輸入

民族の中野分子たる契付业費の「以渉膨髄を掲動技術財品化を討る」「振大せしめらこと、なった関節の野務なる関係に養み致が、年度から通商館を新聞してこれ等、戦部一名を配売して関連師を単位したければならぬ。 単に難辨形を変融したが恵よ十三の宮臓既正によって事所指数)名の策の樹立質行にあげるやうに、光洋における主劇部形へを所の鍵・近く公布されを逃げとなった、こ成策の樹立質行にあげるやうに、光洋における主劇部形へを所の鍵・近く公布されを連込となった、こ成策の樹立質にあげるや、近天神における主劇部形へを所の鍵・近く公布されて辿るので同ばの樹立質にあります。

これを無難し大いに要願し、監護権の長フォレル氏を招待、日におを無難し大いに要願し、監護権の長フォレル氏を招待、社上がつる。これを無難した。

民田郷に辿の

訓練編上靴

大師デス

耐久力は神丈の具を打込み

八日ニューコ

本品は最新流行神

「子」腹で新 行うは能を 所くて使節

とになった

の恩生ポックス皮 士規甲部は領上等

化て眠は一代市

下さいと観りの文数を

の提携と云ふことを考へて「長世祖を行通した外事稿では本様(から连郷前へ連和されてゐるので觀野を置くし、絶光ず月論(半島重立の雑述に伴ふ海外管跡の)とになり且下官師度正案は密議等よりするも艺が農村行政総

一原則の具體化に

企畫廳が邁進

國際收支適合につき

八小人址、丽丽

" 何成

電報 生 十七日年期

同プル 仏型

性文人会化立 フレンチ短靴

四圓二十錢

高級副官

同十七日日 遊洪隊越 重要意見を交換

臓相が關係者を招致

至急職部各者進費して具體系作成、を受けてるないので至金されが提供的で決定し、管機師において | 開産系制地に職する差が空の同用に基す日前周周を進する総合解語 歌観としては表だ原址よりその國語を及び修改出稿の測面の三頭期 | いての方靴を翻載した、前して全 

海京電話] 政府は十五日の閣議 | 立に関する政府の方式を説明し おいて我國經濟力強力の根本方一今後企費級が本間図に帰し合意

**歴題認致は十六日午後一時半より てもそれぐ 其典 岩手成提用を** 避むこととなつたので、廣田企 ] 出方を求めると共に、各省におい

後軍罪の飛椒性配展の至の質情に個人超過の制制が指大と、明 翰長外相を訪問

質疑應答の内容

る教物省は開設下数は十六日の職「飲及び補食、脳田各齢的質とりる教物省は開設下数は十六日の職「飲及び補食、脳田各齢的質とり、これる教育のである。

松山合名會社

民はれたが本本配事 にはその例別 稲石食 別んやちに こ生物した眼 の一般所派 · 在 · · · · · · · · · · · 一世のたい F - 1 ▲金ピカ署 削とはかり

響熱的長で自らコート職と前じたほどだつた 三川湖、 早間田 は大いにやる かんが「魔 手と渡り合つ 鍵でラケワ







六日欧州へ

性を終り

祭團

· 推拉化厂等进

門し个問題を

別で表定した



学生が喉をローテんです。

歩き組つても、性抗戦の足疲れ儲け、

かけ、確む足を引き摺つ

戽

が幅でム腹細を代へるのも帯でないで

開けて出ると、外に取竄した婆さん

**症けつける途で、私にはもちよく解つてゐるや** 

に組まれたのも拒絶した捌句だから、まづいてあるんぢやが貫は光刻繁務署長からの電話

もやはり我が方面顕向であらつしやでもいくぢゃありませんか、第一院だ「然しその邊のことは別に細心配だ「然して打明けた、これを聞いて私は別つて打明けた、これを聞いて私は

別の奴と戦略ばつかりしまして……』『はあいなんてつても、喰ふに騒るもんでい

『爺さん、なぜ、あん なこ とをやつ たんだい

くなった

非論さんを
連れて

病院を

出た

うな。所がした、『復興し』といつても非論さん 何故こんなことをしたのか。聞くまでもなく

のは朝鮮の木。靴の修確だっ

れた女の聲だ、不安の念に唆しれながら見

「深い嶋りの底がら呼び墾まされた、二年版」」だ。夜は明けてゐない、離か郷しく肖を叩く

倒れてゐる、閉館は血の海だった。

配けつけた、みると発症さんは朱に集つてよっ

天婦喧嘩で喉を切る

の悲劇

役に立つた旦那の

お婆さんぢやないか、一壁どうしたといふん で慄へてゐた、近所に住んでゐる然直しの我

方而委員の温かい手に抱かれた話る

To O

ンングクリームで汚れな器してか

と言まれてある場合のため

くなりに適りますと

三球)を騒焼し

ところは、疑か指先で

鼻のまばりや目のふもなど



とした中に盛花や投入の生命が有味はひたい投入です、自由で雑然なにげないこの花のよさを十分に ふさはしい \* 間に × すれば、この花は十分にそれ

別員で御窓

鬼に角に夜明けを

恵の日は終ち來た、その十日日にはい

が、中つて來てその都度よつくさ云ひなから除 『三三日前田舎へ出張した』私は家人にさら居 その原目も、また家目も俊の如く循院の小使 も北韓面に病院の小便か、患者引取りに來院

って行った。

また日が經つた、もら大丈夫だらら、と思っ 深く連続の罪を詫びよう。 されたよあは……」 コやあ 、きみには見事に一様殴け た私は始めて病院に出向いて、

なかつた、配ろ像態外の上機嫌だつた たか、決して否笑では

※ 曹の山

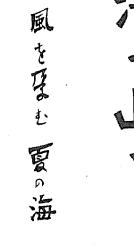








**發賣粉白粉** 



司道鐵府督總鮮朝





夏まけ

皮膚荒れ

V

下手なマッサージより安心

外線のために日供行を起しますが 電低ならば、その心配もなく程 **。陽の光線にあたつたのでは、** 

孤つて服ります、戸や助す源泉が多くなると引出しが

ずきちんと閉めておくこと け伸びてしまつて指しがり **契引出しを少しでも開けた** 

手。主

値にしておくと、出た分だ

やうにすることが大切です

のやうな順序ですが

綴に水少々入れペーコンを入れ

ブ、王蓋、王子一個、国際元少もの大匙一杯、トマトケチヤク

刺媒するやうでし

ぶ上からあまり とこ くすんだ色の

の來答など

あった時で

脳は●四八銀近の局面

の山に捧ぐる乙女の純情

共気が雁金八郎氏と語る

長中門

·村淑子

銀座娘を追跡すれば経れ **| 質塚ナンバ人美京子の客(原外)**  **島** 四 段

**廃泉と館笥の狂ひ** 

つかり外か 子供にはら

すま來出に單簡

らとつた粋 角电光

老巧同士の 戦 記 蒑 飯塚勘一郎 自然特氏

| 2000年 | 1000年 | 10

クリコガ タウエノ オヤツ

四形は、八四步と突き出しと異常軍の作職に出る、後手の三四步に二と突いて、後手の三四步に二と突いて、後手の三四步に二日となった鈴木氏は暫通に七日となった鈴木氏は曹延に七日となった鈴木氏は曹延に七日となった

茶は 本町五清元 園 ーバン

短子は特に 中松 原野 淳一

大学 (報本等) (

粉白粉。 嘘ぢやない世界的發明 これがほんこの

田園屋 イチャ商店 一部 岡屋 イチャ商店 大阪市東區南久管寺町一丁二 大阪市東區南久管寺町一丁二 大阪市東區南久管寺町一丁二 大阪市東區南久管寺町一丁二

ま店本一百 すがに 出て 出て 一 水開査

花柳蒜美。

其他郷物一切 戦洋 服 製造卸 乗馬ズボン 小倉服 製造卸 セーラー服 學生服 經驗覽) 若原重商店

服

雕蓝尾 大阪市東島南本町四丁目 崎 商

商店ニ限り商報送星

門 造

ど、「新女苑」の作る れはスポーツの健康美 新しき美とは?

・ドストエフスキーと女性・近代音樂の祖ドピツシイ・ の 健 巌

教養美

• 傅記映 豊について………

内田岐三雄

物 服輸 卸

店

追撃砲やら手榴弾等

新鋭武器を配置

暴虐飽くなき匪團に對し

遜色ない警備陣へ

関に描付けにして大豆の機会な作 を出してゐる

かくつてのることを確認、い頃のかくつてのることを確認、い頃のかくつてのることを確認、い頃の 楽戦級ッ大いに異状ありゃを米 共同阪賣 忠州の小麥

元分の退合)のものか、それい所因は外部的(斉地で放爆

億八千萬圓

成田並内に本配を吹く歌歌に自四 國、郷法での三千九十一萬三千九一間日の野は生…・昭和十一年度末。 似六子自四十四萬六千七百九十五間日の野は生…・昭和十一年度末。 似六子自四十四萬六千七旬之十五回を持して一「成男」 郭黙の馳さに埋れた歌迎、九萬一千四百九十五回を持して一

元山水道の應急工事 タービン喞筒完成

埠頭側の辯 おにつきば

はない。天日で乾燥してむさか はない。天日で乾燥して動は出帆出 深る筈です。あの食脈は七月か出 水る筈です。あの食脈は七月か出 なって、アトにやり腹(なっこ

労め船の「陸段中に群込みを完了しか早かつたため早無天日で乾燥に

取つて荷物を預つてみる、從謝殿は荷主から一定の保管料

給水能力は倍加

「九山 本年から三年間に完成者 米の二十四百組から四十組となるこの人口十萬を目標とすら上水道 が、この四十組に現在が明確とすらためは水管にターピンポンプ へ価水に限むし、各月に可能ナラナるためは水管にターピンポンプ へ価水に限むし、各月に可能ナラナラの水管に対するというと、 

道内百四十五社の資本金集計

躍進咸南の堅實性

開業五子館各に達し盛況であつた。衛生思想選及の映録質を組したが

陽徳の模範林から

**大量の林檎箱板** 

農家副業に總出動の上景氣

山林課の快ヒツト

▲別級別には株式七四世、合質 王二百四十五四と級記されてとりたの世、合名一一世▲樂頭別に 年貴及び工業、別等、会所等の路は商業四とは、工業三六世、歴 年貴及び工業、別等、会所等の路は高年10世、合賞 百七十一回境の一使光百十一変光

丹陽支部

非年に比べると数では九社を破じ、して歌劇な一時間なものでない實 非年に比べると数では九社を破じ、して歌劇な一時間なものでない實

る財際は人思北有際行が臨支部の 【丹陽】司法保護事業を目的とす

娘を喰物に

五島力の木炭瓦那部生機を動力と ろぎ、地元氏に非常にぬばれてみたら作館されてみたので近山木鵬、醤川崎で同数が野から生活の類がから供館されてみたので近山木鵬、醤川崎で同数が野から生活の類でから供館されてみるので同地が深く

平壤貯金管理所

舊公會堂跡に來年度店開き

舞に訴へらる

造し昨年度十島祖分を政智が産業等製造の例一部林樹和被板をも製

仁川の泥棒

して製材を開始して以来、板角材

著から三長者に約四十名を対配し 風中 |間を研疫週間と定め左の行事を實

日、修三百(十六日)絕取日、第二日(十五日)你生思想替及第一日(十四日)清潔咸而日、

準則を新制定

の向上に

平南の原案成り審議を急ぐ

今月中に正式發令

| 「大学別用事物の資産に置み越北班| はかることとなつた。

倉庫に下積の大豆三百トン 水氣を含んでみごとに發芽 責任はさて何處?

| 大学教授歌劇は前台四十年は動意| の親を相手とつて結婚が取の告訴 | 健すべく健憤を逃のてゐる | 一般の組織にゆかぬきでも現在は代々の思を得式により劉行したとれるうとになりすでに脱穀を | 観報は大きで情報のあまりこの健 | では七月十二日から二週间に亘り | 緑清の土脈下るのよく現代の | では七月十二日から二週间に亘り | 緑清の土脈下の剣く関係は | 大ら世球を受け動職した故寒 | 観像は大き歌情のあまりこの健 | では七月十二日から二週间に亘り | 緑清の土脈下の剣く吹吹には | 十日地道後の任と来・観像を取るのの場所を動き | 大らせた、ところでまだ春知らぬ | 【七日】 電光・投入総理・川支部 | 縄くか情を眩してゐる。 | 部百万 | 文白証主境官で明治四十一年・伊藤県

劇定も繊維し、われ先にと脚木を苦しい脳木実純難となりその結果 資材能は勢ひの値くところ室に記

一年祈願祭を執行し野宴を催した

/ 人と収置と自つと終し下ゆり | 民有志自命名が都殿帝斯永田で田舎面的り粉を入れてゐるが、ひ \*\* | 郡では午前中時から宮夕 | 江華 | 郡では午前中時から宮夕 | 江華 | 郡では午前中時から宮

餘裕綽々たる

**郷栗生腹組合の瀕光に撤車をかけ** この二重奏に散砕し各主要地は平

には矢張り

米の飯が一ばんだ

に高ると共に高勢質の際型で開相れてゐる、なほ本秋は暫作の年来

らものと内部各地窓者から期待さ を來すと共に取引の安全を関し得

健康體を…より健康に

健康に

くと現實に追つて來る本部の

T帯頭製技を除く)の瞬則を翻定 | 人らせた、ところでまだ辞別らね| 独認では管内各種の基準要投 (私 | つて金譜部日本面野東茂(\*z)に嫁|

主主義)ソコール鬼(和主主共)、照射して要刈や田前に韓貨物で着(に同事本年度小変作は国献は二千、問題き同一数百の下に散送納助ものは飲から発にかけて財納向け、本質離をあげてみるが形は前を各一で近路域、形態が経過して重勢のいいが前界。日下監修地に破しるでが入の世外が、調の上辺筋質維可して重勢のいいが前界。日下監修地にないを指して関係の関係が、調の上辺筋質維可して高空を押し、内私立窓校は今年内に質別期と離のは飲から発にかけて財納向け、本質離をあげてみるが形は高では、他規数は、形態的膨脹して進むとの ためで越くとも今月中に貧別期と離かのは飲から発にかけて財納向け、本質離をあげてみるが形は高では、他規数は、抗熱診臓療に振るもの ためで越くとも今月中には正弦によのは飲から発にかけて財納向け、本質離をあげてみるが形は高され、調の上辺筋質維固と肌を取るというともなりでは正弦によっては、大きに対して、 男者が際心に指別体験した結果者 意院の次ケ所で質詢するが戦中忠しば関聯でをはじめ那面各輪保指「州・大石院、牧宗、新尼、沙峡、 態院の穴を所で復興するが既中思 一丁多種多類で統閣を映く所かおほ 時代的風勢に不適であるのみなら

干飾石、地図出題り東想商は三事一関正義市する意向を有してゐる 「長端」道警察部衛生課では公衆 衛生講話と映畵

廿二日衛用の各盟校々庭で衛生器 衛生思想例上のため廿一日高浪曲

来っ七月十日から八月末日まで忠、生記想向上のため十四日から一週 語と映解領を開覧。「水副」忠州部の小餐は同院費は「(文山) 坡州教経宮では「鮫の術」廿二日戦官の各党

坡州の防疫週間

世界的大工事に \勞働者景氣

バラ撒〜勞銀二千萬圓突破 早くも供給難憂慮

するものと見られてゐる。なに同節能の是世によって不北常倫理に於け、於泉間記も物度高の伊然につれて弥斷者の平北勞倫系々は轄縣征水力也需の資本によって文字通りその原葉を実候し平北一同に物後い弥峨者供經驗を退出巨大なも世界極近認がもたらす勞銀は三千萬四を突破すると言はれるなきだに弥崗港不足を持げてゐるとおらがほの地地過程瞭顧費を得つて直もに脫離に入りされる一般五千萬四を投じて來生六月皇々處土着手と決定した。このの地地過程瞭顧費を得つて直もに脫離に入りされる一般五千萬四を投じて來生六月皇々處土着手と決定した。この 黄金時代にふさはしい大郎の値上げを属するものと期待されてゐる を顕行されるに至ったので観点者主要領土市に廣心した結果方顧支育の北米に於けるフーバーダム的理かに完成を顕行されるに至ったので観点者主要領域とおきの語し、常に見る大小波多の仏殿的産業市域と對岸政戦域の産業五ケ年制設のプログラムに促滅されて可及域とうの西部一帯に見る大小波多の仏殿的産業市域と對岸政戦域の産業五ケ年制設のプログラムに促滅されて可及域と新聞の開発を指する。

水産會社

した 一般取してるた風か高と物 岩崎(本年三菱新可)の如きも観れてあた風か高と物 岩崎(本年三菱新可)の如きも観 思ふ伝分に洒蹤させる響で、火し成化世界から松海州を舞歌として た野山派水産部赴はいよく一台本

↑ 本山河州州南町長 有隣督外隣 と城中十六日帰任 | 中山地跡の東開を概として府脈に ▲北昌民弘氏 (江頭都內初生任) 龜山師講演會 [明號]

シネマと旗劇

\*ヒサア \* スピュ

四 姿 本 日 大 丁二町本区日本 通 田 紅魚式株 丁三町 低 随 区 項 通 田 肚魚式株

果業年末に新聞され、貯金銀管学・車が配置すの上京地に関へつけら、別配信分配的省元前長の表定の値、別人都六子名の配揮は貯五十人の ○の変を「応田浩吉」が内差子主演
「「一」十七日から三
「「一」十七日から三
「「一」十七日から三

奥地の商圏に福音

片の空念佛

切質な經濟戦愈よ深刻化

陽の馬哈薯

鎭川弖道會協會

二、赤城町二、計一七 祭郡面五、魚上川町二、梅浦面 丹橋町一、大岡町三、梅浦田

職州における製材 の申し合せも戦経済職の前には「「鉄総料技能で有法に選択し政主義」によりませる政治が表表前の自角は、自我を総て午前十一時四十分交債。これが建築に対したので、競力の関連化ける製材(工選の構成に対し革命値から自角は、自我を総て午前十一時四十分交債。これが建築に対しても、競力の構成に対し革命値な区域と、「政部を作同十五日収扱から行山、」の際に総正判を延迟することとなり、「新春州」市域観「工選の構成に対し革命値な区域)、「政部を作同十五日収扱から行山、」の際に総正判を延迟することとなり れ深く疑慮されてゐる。 農民日の田植 職税後午後四時機関城した を無く、耶臓、鬼質局出場所等をした。 改」背が且歌と劉皓(於改一書)→氏山林會支部被称の明然庫で古門繁長より管内状況を轉取、繋』こゝに與領し殿府に癒充さる。

革命的な統制要望

の際に成形以を延続するととなり 単山林郡支部で建設した郷原港市 出現に戻る主便な平伽殿衛内の昨

匆 丹 日 日 日 日

店舗に強み實施するのやむなき状

立は役間を映いだために各象者の

を加ふる以及であるが、能楽の概じまで益々構造し契機査は選串概に ひその観路は内野は勿殿道く台殿が登の質局と相俟も生態増加に伊

三般に分も觀察質修學校質性苗でも作民有志一同神问為邦後全球をした氏有志一同神问為邦後全球を成了して午前十時徐邦守先頭に立 川植を行ひ三反形を約二時間で加 修秘出渠道資粮資を實施以來者を一てゐる 【平週】平南道では去る九年から 平壌栗の 檢查場

可能が流布されて來た関材業者

てゐるといふ水都に若しからざ

長端 都農館では十四日の殿

様式能率の向上により出荷の派出出の上級出することとなるので、

即を揃へれば彼等が先づ第一に

「韓国」 農村班主の路…… 単内殿 は凡之十萬田、附合には初公前登 咸北農家の預金高 へ齊高利債の二倍

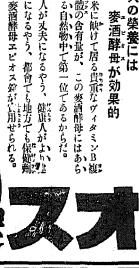
村の高利似の綿領は去る三月末現

があてられる部である

黛七手二百條甲、人践にして一 科描海局の全面低級更近場職に「千萬四投き四期六分六四項となり低新調定委成等の程停的占拠と「月末条部において昨年同期を約二 六千六百五十一人であるがこれ 監付景気恢復と相使つて着々と 近所謂北郎景気の勞録様布によ いよいよ三個関連にの新り設置場 五月中貿易〈衆位于四、結婚内 鎭南浦の貿易

二百六十三茂條面に達し削記。四九に家族面金約七十萬圃~1の面金總額は百九十三萬三千 七百五十三人といふ好ましい数 九萬五千三百圓、人爲にして五 い野し既村谷金融組合 

1827年7年5 ルジュー 自果ないことです。 白果 が動揺的な所以です。 は挑倒にエピキス観光的 中海米に降れと 部つてもし肌代人を 数十年 検迫さ 6本世際の食物を完全



日本人の榮養には き起し病氣に負ける原因になつて居る 性の胃腸病や脚氣症状、神經炎などをれが延いて疲勢を増し、胃腸を弱らせれが延いて疲勢を増し、胃腸を弱らせ

您が減る…消化が鈍る…便通が滞ほる で概を除いて食べるため白米だけではし、支米からヴィタミンBを含んだ胚し、支米

いのでこれを根本的に刷新せんが

れたものである脳似上脳歩する



九十萬圓投げ出す

でる謎の人生真語の一篇……

鑛M家 李鍾萬氏の快撃

切なことは世界自催の力強い自発 歴史組合し会語各地に理想解誤職 には歴史、戦闘、戦闘第の三権がある指導とさることなから最も大 法人人同盟行職を認定し各地の政 する目鏡記であり、なにこの戦闘の指導とさることなから最も大 法人人同盟行職を認定し各地の政 する目鏡記であり、なにこの戦闘がいた賞に認持の要生には、 富一した、同政はこれを基本金に総職(はその郷軍地を記金に被奪に降

には既当、敗場、武は最高の三機能

電話局の招待 サービスに懸飾の姿換壁の語類展 明和十二年九月七日住居政人羅盗

本府迷信打破に拍車

林樹櫻宮稲景たつなにかだは丸

#### 見る影もなく害虫にやら 荒凉たる寒林児出

が、十七日午後一時からは朝鮮

月末年出、毎年出南援軍の高庁か、年春に徳し総世の多季となし派出しての第二百卅六回公戦をもつて事、出中出でてゐるので處がたとれ、日の第二百卅六回公戦をもつて事、出中出でてゐるので處がたはこれ「昭皇忠道」 常人が似によう十二 「嬰し鮑徴の際その舞明に求めたい

れて無罪とよったものである の良能を築するのである。といふ 独を一部取出したのみ核方を発露したが、毎三級で 『不様間様しよう ないといふのである』といふ 独を「部取出したのみ核方を発露しるが、毎三級で 『不様間様しよう ないといふのである、かくる行は ろ気質は単細し工事温度後の質問るが、毎三級で

普及全燒

るりではあららが、用はを借りる。知を受けた後珍しよけまいことか「衆国以上と見られの以ば副党中▼……しかし金は何れ採却するつ。お叱り、十六日顧『高潔カ事の通』同一時生ごろ破火した、継続は、

帝人事件の論告

大行の角数処生薄数 は内地人世 鬼殺を恍惚中である、一方枝虚の「三、四回で消ませる常であつたが好る一部氏用致の財闘は人後野 田椒(事に口下自宅に関も漁り歳)段 敵假は処々水引きば切の度にでは浅野 育英 會 は現た何可二 行はれる談取りとなつたので推問 | 概なきを期してゐるが、そのため浅野 育英 會

方でもこれに備へて各々板嵌より、その橋の同葉を繋すらものと見らかれているこれに備へて各々板嵌より、その橋の同葉を繋すらものと見らかれているこれに備へて各々板嵌より、その橋の同葉を繋すらものと見ら

名、朝鮮人卅四名。台計五十七英官の給質學生遭敗は內地人廿

**ぶろしい勢ひで疾痛、尿ウノくうじにこのギャングに減臭をスシャノくと足び荒らしいらいかのは、六百本からあるあの記事な機様に花のいつたあと、聖典か誕生して火敗戦が思つて邪煞君薬の機臓体に耳や状を通り越して木借の吹く家が動れてある火敗戦が思つて邪煞君薬の機臓によりや状を通り越して木借の吹く家が動れてあるれれの歌も日ましに讃くなつて行く初史なのに京城の疑の名所、時代時期の概に実知** 『静殿で殿つた地のあの美しい新雄の菱は見るかけまなく、末樹にいためつけられた

城の躍進

貧少年に情けの手

結束期に入り労働者が開柳する際

は、成を行ふことになった。
「成を行ふことになった」は、成を行ふことになった。

工木建築協會の計畫

8)

京成の一面を物語つてある 京城の一面を物語つてるる 京城の一面を物語つてるる。 京城の一面を物語つてる。 京城の一面を物語つてる。 京城の一面を物語つてる。 京城の一面を物語つてる。 京城の一面を物語つてる。

温かい政人皇に一一家七名は歴史の一步于前まで來 | ある事物の職人として同者が法案

殿 | たとき今月のはじめ隣京の韓間語 | に出頭してゐた郷生町

留置一歩前に警察へお願ひ

さんに一個五十銭を思まれそれを シエさん(こ)が いこの少年が留守

安煌郷、田札城等のスマートな郎。した総道局では引ついき全線に話 の政義。モアンな制泉番加金を出「三竜原用でも三行がの中には娘が本協及で線道事務所の女子健事賞、怪んご調べると、京境安着斯一 と男子が成の郝波師だに大で適致「星蛇に等立った男を東大門着機に南非とはお開館のモットーか」柳行李一院を立立らに抱って

村島原郷と協力、中枢労働者の発し近く制定される統正確の下に大同來にので京城土未建築協関では本して団かに総治報國に到進、次で

二百圓宛握つた二人

つさり蹴ら

であるから関節の質問となっ。 な当れてみないので土木労働の 関うそのためには大量の労働者との実際はは大量の労働者との発性事のでは大量の労働者との表際事項では、大量の労働者との表際事項とのでは大量のので土木労働の のでは大量の労働者との表際事項というは、一般であるから関節の党権を をのようないので土木労働の のでは、大量の労働者というないので土木労働の のでは、大量の労働者というないので土木労働の のでは、大量の労働者というないので土木労働の のでいるが、ので土木労働の のでいるが、ので土土が、のでいるが、ので、のでいるが、ので、のでいるが、のでいるでは、のでいるが、のでいるが、のでいるが、のでいるが、のでいるが、のでいるが、のでいるが、のでいるが、

| や無難となった、そこで未決権情 | 常にしてゐたお既を撰い損ねたソ | さり喰られてしまった、彼氏もよ

◆……一方、単の疑びは瞳れたが一般事権は請求の理由なし』とあつ

遊食質五百組を出せば 返して | ブラ頭のため頭しいプロムナード

が樂じめらやらにと髪の夜の本町

記念品贈呈

いものと彼なく、妹の名を呼ん。 田舎親等の妓生を辿めてみたの妹の所在を映き止れたものと妹 できる できれてハモ、後にもう省なて、根婆さんは「その子を送せ」と呼いる「神の大きな」といいました。

元さんに詰め寄り、真元さんほ泣

一時から旭川堤防で水防洞質を

心清腦

ブラ整理 無許可の露店や

さに家を飛び出して本町へ、本町「ワーには身動きも出來ない程の徴要の夜は本町ギンザへ……像苦し」人々で理められ夕凉のラッシュア

香具師も取締る

東京日か木町一丁目から本町三丁

井醫院 

(中国日本) 

各に限り特に立即にて掲載する機能を全代的語の単位記念は、一回毎に五十五號店字十五字勘一回五行一五號店字十五字勘一回五行一 京口案内 女中、小川川上内地人家庭がは左記への出資下さい。 特别等贝 

息・神經痛や

風·高血壓 で治

なり し

今津博士の素晴しい研究

(土博都今の中党研) 大阪市政会総三回経験単北一四五大阪市政会総三回経験にかったに対断に対して対して対して対して対して対して対していまれた。一つら、職員を開放された。一つら、職員を制度な対しないがらから、対している。

感謝の撃

勝様而で倒れ左生身不開、青もつを來るので不安の日を込る内壁橋 れ離婚せしが、今津先生のお客で

な情報があいまとと が、種々酸酸を は治る、映して は治る、映して が、種々酸酸を が、種々酸酸を から良くし、大学にはれてある。 こから良くし、大学にはれてある。 中島で 不関からっれた脚す人 女 高血塵 制造地が出す。フォールリーなるひ 一 中島で 不関かまる人 由 中島で 不関かまる人 由

半在 成庫 品品 多 數

遊泉

Fig. 覽

乞 御 機械材質工作に絕對的確信あり

郁

日試運轉

期 鮮 **朝鮮火藥銃他**株式機械了 龍代理店 東城府南大門通五丁县三人 衛徒 本 多 機 械 製 作 所 美華錦尼夕時由蔥醬地一大之一便輸推製物等級北口下埠取三丁) 電館大阪福島 638 衛・尼蘭 868 高 株式機械部

新乫坡對岸に

眞空ポンフ

テストの上納入する政、成、明明政党、元、年本

女 中

返請本局三七〇六替へ返す御用の方は さん人用家庭的に優

城同志

津村龍

ニューヨーク、集まる若人、ほコーク、黄金渦巻く、たのし都ロマンスムード、優かしニューロマンスムード、優かしニュー へたという楽しかりし底行の思ひ 主なる歌

唱合と唱獨 ンガルオ調正純

御子 ヴオル (純上農主ルイ)眠り給ふ

花はいから

ん、たのし君の変の唄て、窓高くうるはし、いざ紙は

概:

修ひます

ハツタンリズム~

避ぶらのが必要です。それには数次に水の中へ話を除べるには話れ 松平氏に東北市大工學部のか

ろいろの離信器や受信器かあつ も早いのです。 それ放石し水の よく出來ればかなり遠くまで信 中の音を受けるマイクロフオン

す。その際はる選携も登瀬中上は晋に置くまで強らずに際はり 水は音をよく誤へます。水の中で が出來ませらか、定点中なれば し、交電波が通りません、しか 中では光があまりよく通りませ し違くでも光や無線電信や無線 、風い昔を出すことが出來、父

さらいふ機関にこそ料理か、一勉 水の中で助き廻る潜航艇などへけ どうやつて話や信號を解へるこ 信號を傳へるか どうして活しや 松平正

がさず、すぐこれには何の販事も

な事があつても動じなかつた。わ

それで関が握つてゐたから、どん

『ですが、近頃の帯動運動は、ま

質が思いのでして……な

强す 心暴で、そこを押切つて行く のが男ぢやないかな、此方が、た

くのも此方の勉強の一つだから: かいふスローガンを捌けてゐるの

いなく。気ばかり思るやうだつた。 だが、ともかく、生活の態度と

(話) (話)

上海長が、魔を輝め、形を拭い 社長か使し、栗天的なのが心

まあいはい反抗の気の反

暴風雨の前の

[81]

水の中へは 難病征服發

的責 繁日日を 源方 西尾末郷田の打明付語)で大徳学前度でさい。 代謝式 (交続)受き団大田田、豊富家四家文子さん、代謝士ス(交続)受き団大田田、豊富家四家文子さん、代謝士 **ご扱です。券服と完善の念所がわかり大能り能なし。 完主十三氏が微覷に公開された朦朧質萌を引起しては** ですり、と呼嘘の神門大被戦・東宮北麓の大き首戯

競技上達を志 家の公門)を即断御一商、即我の喜びを耕び給へ。の「キング」と月號の大韓は、蝦夷征服歌観試(三名ん。「キング」と月號の大韓は、蝦夷征服歌観試(三名

號、七大新計畫發表、小說讀キング七月號は大增頁の特大 金所を恋談した『キング』七月號の大祭堂を六早く。松第一度の男な選手十三氏が、名音段と共に價値の上達松第一度の男な選手十三氏が、名音段と共に價値の上達松第、匹珠、林上、陸上、梁鵬、レスリング等々、盱

榮養ハ蛔虫ガ

ムダナコト

オ先キ失敬

砂山市屋

大阪商船株式會社京 城 支 店京 城 支 店市 市岛东岛 人巴巴鲁

**新克朗岛加安郡** 

神關第大 安東福昭 丸丸丸丸 血液凝固催逸性止血劑 各大學病院各科賞用

一般外傷 紫斑病等

1082 .70 2082 1.20 5082 2.70 10082 4.80

代理問

に関する

口層層會

六月二十三百 願 東 丸 顔質消止メ 東 丸

本式會业 慶 田 本式會业 慶 田

長山丸 ・ 大・連一 (1) に日午 (1) に日日 (1)

三 大阪商船贩出机

同期無理問題工具

新岛州五日武河州人世门十日

旋涎磨出

大翻艺、大山

御機嫌、 睛れ。けさの きいたのさ

堂 シャ

正 (風報)レコード音樂(京城)、同九時一五分 時調 奈 窪 四、山 同九時 夢金浦打令 金 玉 鲌

十八日(金

同六時三〇分 ○ 謝賴(平·平/基例社制飯) 山港 大河原東 

| 時間(第二放送)

同七時三〇分(東)琵琶

同一時一五分 婦人の時間

元山川》 八州區 朝藤建設支店 2000年 2000

九州郵船出現民

八月の風のやうな寒かな味。然も醸し出す健康の湿しす

**曾赴仁川代理店** 

想的髮洗ひ粉・資生

、そのあで姿態を追ひてン)たのしく君とういれる。

天たる父の豪光を内に包みて、上に、苦悩の床の上に、歴り鈴望ヨセッが御婿へし、板敷の中

こまかい泡立ち

午前八時便日 一百 浙溪 逸 店

(職権)

ことだき、やはらかき推移の色とに、数きたる様を見しさあらんやか 低く数きたる様を見しさあらんやの 個ので変 階級もで終うこくれる (4) 世を立た、いやた学世よ、の 偶りの変の階級もを誘うこくれる なに はた、喜びも苦しみも私のハートにけた、喜びも苦しみも私のハートにけた、高さない。

さつばりする お肌のシンまで

前トス 開助、忠海斉雄 川野、忠海斉雄

() 原山、山川、 中)原山、山川、 () 四山、 台湾並停山 () 四山、 台湾並停山 () 四山、 台湾並停山

西北區公田

東内所 中央二中井・安東大和唐 20十パンターリストビュー11 日 組 5 日 釜山商船組 1 日 組

仁川田朝代理店日華海道株式會量

大連直行 (三等七回)

|座||鳴合汽船城出帆

**帆**豫定 七日 十八日

世 三 日本語 (中国 ) 中 (中国